

2021年1月11日掲載 輸送新聞

第一貨物社長

米田総一郎

構造改革さら に加速へ



昨年は、コロナ禍により収入が大幅に減少する等大変厳しい環境でした。

しかし、外部戦力依存体質からの完全脱却による利益率の大幅改善という構造改革に向けての歯車が大きく動

き始めた年であったと評価しています。今年はその動きをさらに加速していきたいと思えます。

コロナ禍により当社の業務のインフラとしての価値は、より一層高く認識されたと思いま

す。従業員の皆さまには大変なご苦労をおかけしていますが、逆に公共性の高い業務として認知されているが故に、仕事もあり、生計も立てていけるのだと

いう事を認識する必要があります。ぜひ、仕事に誇りを持つと同時に、「ありがたい」という気持ちも忘れずに、お客さまのニーズに確実に応え、品質にこだわっていただきたいと思えます。

今年3月15日に80周年を迎えます。

その記念すべき年に、構造改革を成し遂げ、必ずやコロナ終息後に好循環を呼び込むべく、全社一丸となって頑張っていきたいと思います。